



今月はモンゴルのウランバートルから来日し、わずか5年でさまざまな資格を取得した介護福祉士バトバイル・デムベレルハンドさんを紹介します。

バドバイルさんは日本のアニメ好きが高じて「いつか日本に行ってみたい」と日本に憧れていたそうです。人と話すことが好きで「コミュニケーションを通じて、誰かを笑顔にする仕事がしたい」との思いから、技能実習生として来日。現在は介護施設まきば園に勤めています。



期待のエース モンゴル出身の介護福祉士 バトバイル・デムベレルハンドさん（谷郷・30歳）

何事にも妥協せずに取り組む性格で、来日前から独学で日本語の勉強をしてきました。日本に来てからは仕事終わりや休日に、日本語の勉強や介護資格の勉強をするようになりました。「一度集中して取り組むとずっと続けられます」と話すバドバイルさんは、介護に必要な資格取得に向けて自己研鑽を重ねてきました。

令和3年には介護の基本である「実務者研修」を修了し、令和6年3月には念願の介護福祉士資格を取得しました。そして5月には普通自動車免許を取得し、7月には日本語を母国語としない人の日本語力を測るJLPT日本語能力試験で最高難易度の「N1」にも合格しました。

「まきば園で採用した海外出身スタッフの中でもハンダさん（バドバイルさんの愛称）は介護福祉士国家試験に一発合格し、N1も合格したエリートです」と施設長の根岸さん。利用者に親身に接するバドバイルさんは、特別養護老人ホームやショートステイでの介護なども経験し、来年度からは現場のリーダー職を目指します。「外国の人も日本に来たら、興味のあることをたくさん学んでほしい」と、自身の経験を踏まえて語ってくれました。これからも持ち前の明るさで利用者を笑顔にし、その笑顔がまた、バドバイルさんのさらなる向上の原動力となります。

来て！見て！ 図書館

と し ょ かん

開館時間

午前9時～午後7時

休 館 日

1月 1日(水)～ 3日(金)・ 6日(月)・
14日(火)・ 20日(月)・27日(月)・
31日(金)、

2月 3日(月)・10日(月)

※休館日の図書の返却はブックポストをご利用ください(年末年始を除く)。

●市立図書館●

佐間3-24-7(「みらい」内)

TEL:556-4227

FAX:555-3770



令和7年 ブックスタート

- ▶日 時 第1、4水曜日午前10時～正午
- ▶場 所 図書館ミーティングルーム
- ▶内 容 絵本を1冊プレゼントします。
- ▶対 象 1歳未満のお子さんとその保護者
- ▶持 ち 物 母子手帳
- ▶そ の 他 絵本の読み聞かせの後に育児相談を行います。



予約連絡をメールで受け取っている方へ

令和6年12月20日から予約連絡に使用するメールアドレスを変更しました。受信設定をしている方は新しいアドレスが受信できるよう、設定をお願いします。

▶新しいアドレス gyoda-library@im.licsre-saas.jp

図書館ホームページリニューアル！

令和6年12月20日から図書館ホームページが新しいデザインになりました。トップページに開館カレンダーを追加した他、子どもページも大幅にリニューアルし、使いやすくなりました。

なお、行田市立図書館Web OPAC(資料検索)のURLが変更になりましたのでご注意ください。

▶新しいURL <https://www.im.licsre-saas.jp/gyoda/webopac/index.do>

ぎょうだ電子図書館 新着本 (ぎょうだ電子図書館 (<https://web.d-library.jp/gyoda/>))

- ・満月がこの恋を消したとしても 蒼山 皆水/著
- ・星の王子さま サン＝テグジュペリ/著
- ・小説機動戦士ガンダム SEED FREEDOM 上 矢立 肇/原作



行田歴史系 370

資料がかたる行田の歴史

70

市内で初めて発掘調査が行われた古墳 ～東京国立博物館所蔵資料から～

小見真観寺古墳(前方後円墳)は、寺伝によると、寛永年間に後円部の中央に位置する横穴式石室(第1埋葬施設)を発掘したとされており、記録に残る本市最初の発掘であった可能性が高いと考えられます。しかし、第1埋葬施設の出土品については記録がないため、詳細は不明です。

その次に、明治13(1880)年に箱式石棺(第2埋葬施設)が発見された際、国が小見真観寺古墳の实地踏査を行いました。博物館長の町田久成が調査を実施して、「武蔵国北埼玉郡小見村真観寺上地官林岩窟検査ノ記」として記録を残しました。その記録は明治32(1899)年に



小見真観寺古墳出土の銅鉢
出典:ColBase (<https://colbase.nich.go.jp>)

大野延太郎によって転写された付図とともに紹介されました。また、失われたと思われていた付図の原本が近年発見され、付図を描いた人物は柏木寅一郎であることが結語つづけた論文(「古墳文化基礎論集」、古墳文化基礎論集刊行会編集発行、2021年12月、加藤一郎「小見真観寺古墳と柏木寅一郎」も発表されています。その付図には古墳と石室の見取り図、石室内の遺物出土状況図などが詳細に記録されていました。

小見真観寺古墳において、このような調査が行われ、記録が残されたことは、本市で初めて、現在に通じる発掘調査が行われたものといえるでしょう。その調査で発見された第2埋葬施設の出土品は、現在の東京国立博物館に所蔵されており、主なものに頭椎大刀、圭頭大刀、堅矧広板銀留衝角付冑、有蓋脚付銅鉢、銅鉢などがあります。

小見真観寺古墳は昭和6(1931)年に国指定史跡となり、現在までに墳丘が大きく失われずに受け継がれてきました。昔からさまざまな人々の興味関心を惹き、近世・近代の地誌にも数多く掲載されており、現在も研究資料として取り上げられています。

(郷土博物館 篠田泰輔)

私の作品

俳句

藤原町 斎藤雄次郎

玄室の巨石の隙間より師走

小見 三宅 典之

予後一年古墳に立ちて初日の出

門井町 宮田 淑尚

入院につづく通院秋暮るる

矢場 島田 健治

せせらぎに耳をあずけて帰り花

持田 小倉 繁三

軒下に暖簾のごとき吊し柿

持田 中野 華泉

句作いま老いの楽しみ初時雨

小見 川島 盾子

年賀状震える友の文字七つ

緑町 松林 真弓

文化の日恩師の講話聴きのがす

谷郷 羽石 芳道

菰巻きの松の並木や冬仕度



○俳句応募方法 一人3句以内。毎月末日(必着までに、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、はがき・封書で広報広聴課。なお、一部添削して掲載する場合がありますが、不要であれば「添削不要」と記載してください。